

「となり街の図書館」

豊橋市 倉内由奈

コンビニでホットコーヒーを二つ買い、夫の運転する車でとなり街の図書館へ向かう。片道四十五分のちよつとしたドライブ。ここ何年か続く私たち夫婦の休日の過ごし方である。

初めてこの図書館に行ったのは、子どもの絵本を探すためだった。というのは、きつと口実だ。新しい図書館の、新しい本の香りの中、自分自身が気分転換したかったのだ。三十代半ば、子育てや夫婦関係など、様々なことに行き詰まりを感じてもがいていた時期だった。

「家族に美味しいごはんや子どもの喜ぶお菓子を作りたい、庭を木々や季節の花で彩りたい、イライ

ラせずに子ども達の話に耳を傾けたい、夫と穏やかな時間を過ごしたい……」

図書館の本棚に、幸せになるヒントを探し求めていたように思う。

あれから二十年。図書館のたくさんの本は私の狭い視野や小さな世界を広げてくれた。そして、私に行動する勇気を与え続けてくれた。また、この空間で本を読んでいると、不思議と心が満たされていく。自分のためだけの時間がここにあるようで嬉しい。

今、子ども達は成人し、夫婦だけの時間が充分にある。今の私には、初めてとなり街の図書館を訪れた時には想像できなかった、平穏な毎日がある。そして、次の休日を心待ちにしている。

